

防災科研ニュース

2012 Summer No.177 (C) 独立行政法人防災科学技術研究所

災害調査研究速報

- 常総市・つくば市に被害をもたらした竜巻

特集

- リアルタイム降雨強度／風向・風速
- 震源情報を迅速に決定 AQUAシステム
- 強震モニタと防災地震Web
- 降雪・積雪状況のリアルタイムモニタリング

行事開催報告

- 首都直下地震防災・減災特別プロジェクト最終報告会
- 地震・津波災害軽減国際シンポジウムー東日本大震災の教訓を世界で共有するためにー
- 「東日本大震災を踏まえたリスク社会のイノベーションー情報共有に基づく新たな公民協働ー」を開催

- 科学技術週間「一般公開（雪氷防災研究センター）」

- 第16回自治体総合フェア2012に出展
- 科学技術週間「一般公開（つくば本所）」
- 雪氷災害予測のための専門家ワークショップを主催

受賞報告

- 平成24年度科学技術分野の文部科学大臣表彰を受賞
- 平成23年度日本地震工学会功績賞等を受賞
- 米国土木学会 Raymond C. Reese Research Prizeを受賞

お知らせ

- 文部科学省ミュージアム「情報ひろば」で常設展示を行っています

特集 リアルタイムモニター

大型連休の最終日5月6日に発生した竜巻は、この種の災害としては、国内では類を見ない大災害となり、防災科研つくば本所のあるつくば市に大きな被害をもたらしました。1人の尊い命が失われ、家屋の被害は1,000棟を超えたと聞いております。亡くなった方のご冥福をお祈りするとともに、被災された多くの方々に心からお見舞い申し上げます。

防災科研では、被害調査を始め、多くの研究活動を行っており、Webなどを通して広く情報を公開してきました。復旧支援に関わる活動としては、社会防災システム研究領域リスク研究グループによるeコミュニティ・プラットフォームを用いたつくば市竜巻災害における災害対応支援活動があり、このほどその活動が評価され、つくば市社会福祉協議会からお礼状をいただきました。

さて、今回の防災科研ニュース夏号の特集は、リアルタイ

ムモニターです。災害を伴う気象現象、あるいは災害そのものを一部でもリアルタイムで「見える化」することが出来れば、多少なりとも安心できます。また、予測に結びつけることができる場合もあり、その場合は事前に災害に備え、被害を軽減することが可能になります。

残念ながら、今回のような竜巻に関する「見える化」は、今のところ困難なようです（本文記事参照）が、それなりに「見える化」が進んでいる対象もあります。

本特集では、防災科研が発信している「見える化」に関する4つの情報（「リアルタイム降雨強度／風向・風速」、「震源情報を迅速に決定 AQUAシステム」、「強震モニタと防災地震Web」、「降雪・積雪状況のリアルタイムモニタリング」）について、ご紹介致します。この特集が、少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。